

一般質問(要旨)



狩野 岳也 議員
いばらき自民党
かすみがうら市選出
一括方式

命の大切さの教育

議員 自分たちで命を救う精神が重要である。県民誰もが心肺蘇生法を習得し、非常時に行動する勇氣を養うためには、命の大切さを教育現場で教えることが必要ではないか。

教育長 運動会や遠足前にAEDを含む心肺蘇生法講習会を開くなど、まずは身近にできることから取り組み、児童生徒一人一人がいざという時に、適切に行動できる実践力を育成し、命を大切にす



石井 邦一 議員
いばらき自民党
常陸太田市選出
分割方式

特区の創設と再生可能エネルギーの導入促進

議員 県北山間地域への再生可能エネルギーの導入促進を図る特区の設定も含め、県としてどのように再生可能エネルギーの導入を図っていくのか。

知事 県では新たなエネルギープランを策定中であり、年度内にとりまとめる計画に再生可能エネルギーの導入目標を定め、導入促進を図っていく。特区設定は必要性などを検討し、地元の意気込みなどを伺いながら地元市町と協議していきたい。

茨城空港利用者へのサービス向上

議員 大手航空会社と違い格安航空会社では、欠航による代替便やホテルの手配などが大変であるため、ハウツー本の作成など、茨城空港ならではのサービスを利用者へ提供すべき。

企画部長

茨城空港の利用者が安心して旅行できるよう、便の変更や払い戻し、宿泊先の手配方法などより分かり易い情報提供や、フェイスブックなどを活用した情報発信によるサービス向上及びリピーターの確保に努める。(ほかに、反射材の普及、茨城の治安維持対策なども質問)



AEDによる心肺蘇生法の訓練

FIT圏域における高規格道路の整備

議員 県北山間地域の高規格道路の整備について、県としてどのように考え、夢を持ち計画していくのか。

土木部長

高規格道路の実現に向けて必要な調査を進め、早期に整備効果が発現できる区間から整備を行い、FIT圏域の産業の活性化や広域的な周遊観光の実現、広域的な交流など、FIT構想の推進に引き続き取り組む。(ほかに、宮の郷工業団地を核とした森林資源の有効活用、絆をばぐくむ教育環境整備なども質問)



小水力発電の水車(那須野ヶ原用水ウオーターパーク内)



大内 久美子 議員
日本共産党
日本共産党
日水戸市選出
一括方式

ストレステスト問題・廃炉の決断

議員 東海第二発電所のストレステストは、再稼働を前提としており、抗議すべきである。また、原発からの撤退を求める県民世論は明白であり、国に廃炉を表明すべきではないか。

知事 ストレステストは、あくまで事務的に報告されただけである。廃炉については、今後、原子力規制委員会の動向や専門家の意見などを踏まえ、県議会や地元自治体と十分協議し、方針を決定したい。

少人数学級の拡充

議員 少人数学級は、児童生徒の問題の把握や指導が適切にできるなどのメリットがある。全学年で実現すべきと考えが所見は。

教育長

本県独自の少人数学級を小学一年生から四年生及び中学一年生で実施しているほか、法改正により、今年度から定数の範囲内で他学年においても可能となり、十二市町村二十一校で実施している。今後とも国や市町村の動向を踏まえ、さらなる充実に努める。(ほかに、国民健康保険の改善、最低賃金の引き上げなども質問)



東海第二発電所(東海村)

城里町の日本一の米のPR

議員 「お米日本一コンテスト」で城里町の生産者が最優秀賞を受賞した。県内生産者の意欲向上にもつながることであり、県は積極的にPRすべきでは。

農林水産部長

県テレビ広報による情報発信、イベントやオープン予定のアンテナショップでのPR、見本市への出展などを通じ国内外に広く紹介していく。(ほかに、県有財産を活用した税



おいしい米づくりに取り組む城里町「なかの里生産研究会」の皆さん

県議会基本条例検討委員会を開催し 県民の意見を聞く会を実施

七月三十一日の第五回茨城県議会基本条例検討委員会(山岡恒夫委員長)では、議会基本条例(仮称)の骨子を取りまとめました。

八月二十三日の第六回と九月十九日の第七回の検討委員会は、条例骨子について県民から意見を聞く会として実施しました。第六回では、県内団体から仁平二郎氏(県自治会連合会)、飯泉智弥氏(県青年ネットワーク協議会)、原範子氏(県女性農業士会)、高島和子氏(社)県法人会連合会女性部会連絡協議会、植木伸輔氏(県商工会議所青年部連合会)、平塚修氏(県森林組合連合会)、梶修明氏(NPO法人インパクト)、鷺田美加氏(NPO法人ままとーん)の計八人の方から意見を聞き委員と意見交換を行いました。

第七回では、各会派から推薦された井戸英二氏、日下部好美氏、龍田浩行氏、飛田啓一氏、布施洋一氏、綿引悦朗氏の計六名から意見を聞き、意見交換を行いました。

出席者からは、「日頃の活動を分かりやすく県民に説明したり意見交換をする機会を設けてほしい」、「幅広く県民の意見を集約できるように仕組みを作ってほしい」などの意見が出されました。

県民の皆様からいただいた意見は、今後条例案を作成するにあたり参考とさせていただきます。



出席者からの率直な意見に聞き入る委員

前号の「県議会だより」による意見募集の結果

五人の方から十四件の意見をいただきました。主な内容は、県議会に対し「本県独自の政策課題への取り組み」や「県民の関心を深めるための活発な議論の展開」などを、また、議員に対し「積極的な政策立案」や「活動報告の充実」などを求める意見をいただきました。

ことば ※【FIT構想】・【FIT圏域】…福島(F)・茨城(I)・栃木(T)の3県の県際地域(那須岳・八溝山を中心とする地域)が、これまで培ってきた交流・連携をもとに広域交流圏としてのさらなる発展を目指す構想。13市17町7村が対象で、本県は県北地域の7市町(日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町)が対象。